

第11回

御佛像について

About the statue of Buddha - Mind and Form -

石山寺如意輪観音半跏像 長谷法寿作

講師
長谷法寿

佛師
Houju Hase

2018年11月11日(日) 13時より受付開始

参加費無料(申し込み方法は裏面をご覧ください)

定員 50名

主催: 大津市浜大津・石山地区文化遺産活用実行委員会

平成三十年度文化庁文化芸術振興費補助金(文化遺産総合活用推進事業)

会場 大本山石山寺明王院

〒52010861 滋賀県大津市石山寺1-1-1
MAIL: info@rekishiyakka Web: http://www.rekishiyakka.jp

体験プログラム 観音様のお顔を粘土で作ろう(参加費無料)

御佛像について - 心とかたち -

紀元前500年頃、お釈迦様(釈迦如来)がインドに於いて佛教を説かれました。その後、約1000年もの年数をかけて中国から朝鮮半島を経て、紀元後538年、日本に佛教と佛像が伝えられました。伝来当初は釈迦如来の像が中心だったのですが、遣唐使船により大陸から伝えられた数々の佛教經典の増加とともに、佛像も容姿の異なる像が増え、大きく分けても、如来(佛陀)、菩薩、明王、天となっています。その各尊像の特徴と日本の時代順に、どのような佛像が信仰されて来たかを説明してみたいと思います。

当日のスケジュール

- 13:00 - 受付開始
- 13:30 - 講演(長谷法寿)
- 14:30 - 体験(観音様のお顔を粘土で作ろう)
- 15:30 - 終了(予定)

講師プロフィール



佛師

長谷法寿

Houju Hase

1956年、愛知県挙母町(現、豊田市)に生まれる。小学校の修学旅行で京都、奈良の佛像と出会い、魅了される。中学校卒業後、地元を離れ高野山高校宗教科・京都の種智院大学仏教学部、同大学研究科生、高野山専修学院(修行道場)を修了。大学在学中に、インド、西チベット(ラダック)、ネパール、中国の佛教遺跡調査に参加。

体験プログラム

観音様のお顔を粘土で作ろう

講話の後、観音頭部(粘土製)の表面をヘラでなぞって、なめらかに仕上げさせていただきます。お持ち帰りいただいた後、乾いてから紐を通して壁にかけると飾っていただくといいかと思います。



1986年、神戸の大本山・切利天上寺の七軀の観音像を制作、その後、高野山の西塔本尊・大日如来、宝塚の大本山・中山寺の諸像をはじめ各地の寺院に佛像を制作、修理奉安。2012年より京都の種智院大学、特任教授として「日本美術史」と「彫刻実技」の講座を担当、現在に至る。

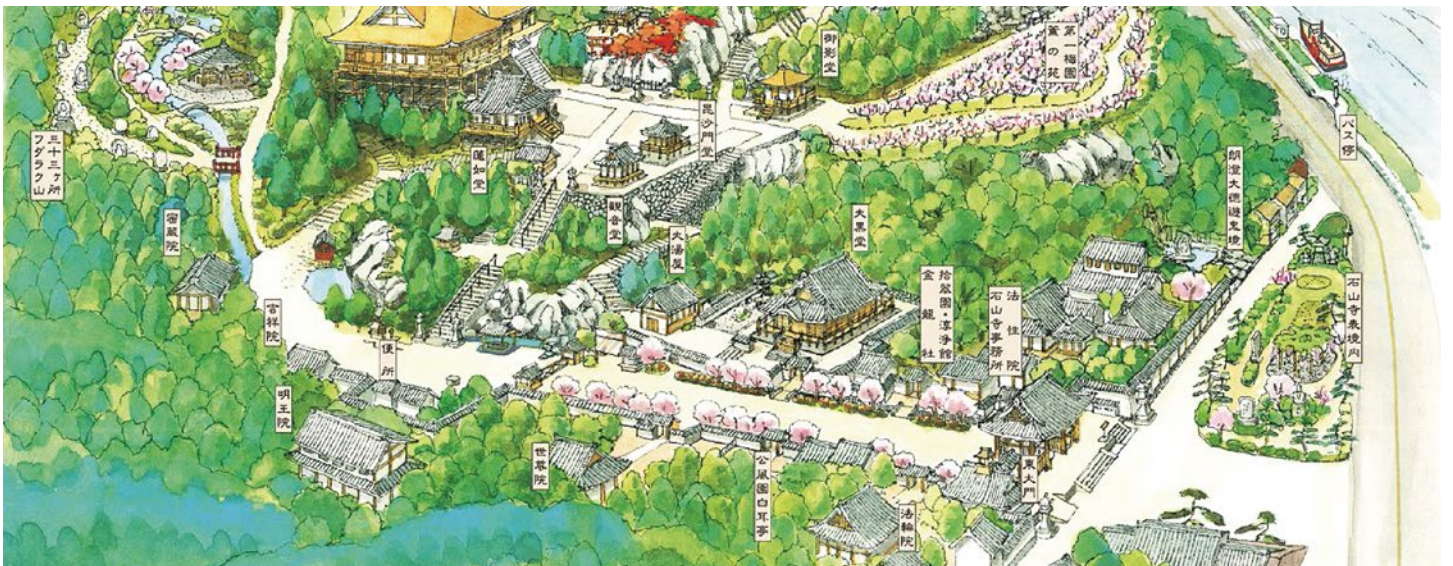
申し込み・問い合わせ

びわ湖大津歴史百科のホームページ
www.rekishihyakka.jpの申し込みフォームよりお申し込みください

MAIL: info@rekishihyakka.jp

TEL: 077-522-2238 | FAX: 077-522-2221

会場へのアクセス



京阪 石山寺駅(石坂線)より 徒歩10分、JR 石山駅(東海道線)より石山駅京阪バス石山寺山門前 下車すぐ